

【一薬の魅力③⑧ 西日本唯一の漢方薬学科〈10〉テレビ西日本の番組で本学の取り組みが紹介されました】

2025/12/26公開



第一薬科大学は西日本で唯一、漢方薬学科を持つ大学です。福岡県の委託を受け、県内における薬用植物の自生地調査や栽培指導にあたっている本学の取り組みが、11月29日と12月2日の2度にわたり、テレビ西日本の番組で紹介されました。いずれも約10分間にわたる中身が濃い内容でした。

11月29日に放送された土曜朝の情報番組「福岡NEWSファイルCUBE」では、緊迫する日中関係について触れた後、医療現場で漢方薬の需要が高まっているが、原料となる生薬の8割が中国産であることを説明。そんな中、福岡県内でも栽培しようという動きが出ていて、福岡県の委託を受けて県内の自生地調査や栽培指導にもあたっている本学の教員のインタビューや講義風景などが紹介されました。

さらに12月2日には平日夕方の報道ワイド「記者のチカラ」でも、日中関係などを除いた29日のVTR部分が放送されました。

両番組では別々のコメンテーターのお2人が中国における薬用植物の現状や、国内で漢方薬を生産する動きにとっても興味深い意見を述べておられました。

翌3日にはフジテレビ系列のニュースサイト「FNNプライムオンライン」でも29日に放送されたVTR部分が配信されました。

詳細は下記のリンクをご覧ください。

[需要が高まる漢方薬 原料の8割が中国産 日中関係冷え込みリスク分散へ 国産原料の必要性が高まる【福岡発】 | FNNプライムオンライン](#)

本学の魅力が視聴者のみなさまに伝わった内容だったと思っており、教職員らも喜んでおります。テレビ西日本のみなさま、手厚く取材・報道いただき、ありがとうございました。

(※なお、本文中の各所属会社等の敬称は略しております)